



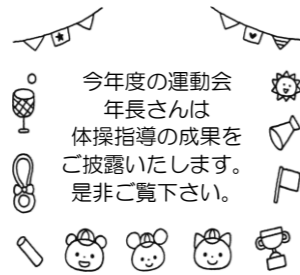
10月の園だより

中秋の名月、満月にススキ、月には「ウサギ」が住んでいるという。太陽には「からす」何で月はうさぎなのかわかりませんが。地球にはたくさんの生き物(動植物)が生息していますね。人は陸上に住み、水の中には魚など、いろいろな生物が、相互に食べられ、食べて共生しています。それは生物の社会です。我々人間社会では、子ども・大人・年寄りも、皆それぞれの役割を持って生活をしています。

子ども達は、毎日、庭や屋内で運動会の練習をしています。毎日、乳児は歩く練習、そして1歳半頃になると、自分の体が自由に動くようになり、部屋の中を走ったり、飛んだりねたりすることが多くなります。また、自我が目覚めて、やりたいことには挑戦し、やりたくないことには「いやだ」ということも出てきます。2歳後半になると「自分で」と言って、例えばスポン、靴を履くのも自分で履けるようになり自立してきます。自分でできることは、自分でするように、時間がかかるかも知れないが、待つてあげましょう。親は、急いでいると「早くして」と言ってしまいがちですが、我慢、我慢。子どもは一步一步成長し発達していきます。運動会も年齢によって、手足の動き、速さ、表現力も違います。是非、運動会ではわが子の発達の姿をご覧ください。

行事予定

- 4日(水) 運動会リハーサル
- 5日(木) 運動会リハーサル
- 7日(土) 運動会
- 8日(日) 運動会予備日
- 10日(火) 体操指導
運動会予備日(保育中に行います)
- 12日(木) リトミック
- 17日(火) 避難訓練
- 19日(木) 全園児健康診断
- 20日(金) 秋の遠足
- 24日(火) 遠足予備日
[幼児対象・給食あり]
- 26日(木) リトミック
- 27日(金) 誕生会



今年度の運動会
年長さんは
体操指導の成果を
ご披露いたします。
是非ご覧ください。

☆乳児クラス個人面談
10/31(水)~11/9(木)
※詳しくは掲示をご覧ください。

☆幼児保育参観
10/16(月)~11/1(水)の間に
行います。
※詳しい日程など幼児入口の
ボードでお知らせしています。

秋の遠足

ゆめ・ほしくみは通常保育です。
つきぐみ・幼児クラスは
お弁当持参になります。
詳しくは後日お知らせを
配布いたします。

幼児クラスは、
中旬以降にさつまいも掘りを
予定しています。

詳しくは幼児入口の
ボードでお知らせ致します。

全園児健康診断

全園児対象です。
できるだけ欠席のないようお願いします。

10月おたんじょうび おめでとう

- ほしくみ・3名
- そらぐみ・1名
- にじぐみ・4名
- ひかりぐみ・3名

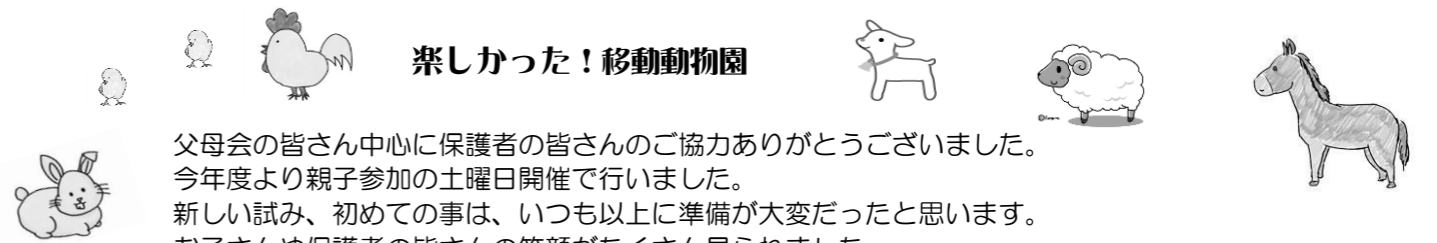
～・放射能関連に伴う給食食材産地確認について～
市場に出回っている食材は検査をクリアしたもので
人体に影響を及ぼす心配はないとの事。
10月より、展示食横にファイリングして
お知らせしていた産地調査は
取りやめますことをご了承下さい。

運動会の駐車場のお願い

園内駐車許可の方以外の方で車を使用される方は
由木東市民センター第二駐車場をご利用下さい。

由木東市民センター入口横の第一駐車場の
ご利用は出来ませんのでご注意ください

園で利用しているのが確認されますと、
今後、第二駐車場の利用もできなくなります。



楽しかった！移動動物園

父母会の皆さん中心に保護者の皆様のご協力ありがとうございました。今年度より親子参加の土曜日開催で行いました。新しい試み、初めての事は、いつも以上に準備が大変だったと思います。お子さんや保護者の皆さんの笑顔がたくさん見られました。園としても親子の交流や友達同士の関係を見ることが出来たり、保護者の交流の場になっていたようで、良かったように思います。当日参加していた数名の保護者の方に感想をいただきましたが、皆さんにも好評のようでした。ただ、土曜日登園のお子さんのことが気になりました。との感想でした。当日保育担当の職員から、様子を伺ったところ、お子さんは、目の前にいる動物に夢中だったそうです。



スマホ社会に育つ子供の未来

……ルールを守りつつ、睡眠を重視して……

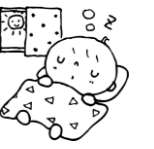


1970年代にはテレビ・1983年にはテレビゲーム・1990年になるとパソコン、学校現場でもITが導入されています。そしてスマートフォン、まだ10年ぐらしかたっていないのになくは困る物になってきています。また、車の中、自転車の後ろで幼児スマホをいじりながら、登園する話を聞いたことがあります。今、問題になっていることが、早期の接触、長時間接触、親のメディアづけとされています。メディアの影響についてまだ科学的根拠はまだはっきりしてきませんが、乳幼児期の発達に必要な心と身体を育てるための「親子の絆を育てる時間」を大量に奪っています。アメリカや日本の小児科学会でも警鐘を促しています。2004年に日本小児科学会によるとルールを守り、睡眠を重視して…文科省が行った調査では「就寝時刻の遅い子・睡眠時間の短い子・就寝起床リズムが不規則・朝食摂取していない子は学力が低い」と言う報告もあります。

《ルール(日本小児科医会より)》

- ①2歳までのテレビ・ビデオは控えましょう
- ②授乳中・食事時のテレビ・ビデオの視聴はやめましょう
- ③全てのメディアへの接触する総時間を制限する事が重要です。(1日2時間を目安に考えています。)
- ④こどもの部屋にテレビ・ビデオ・パーソナルコンピューターを置かないようにしましょう。
- ⑤保護者と子どもでメディアを上手に利用するルールを作りましょう。

お仕事をされているとなかなか時間が取れないと思いますが、だからこそ限られている時間をどうお子さんと過ごすか考えて見ましょう。1日10分が1年では60時間50分にもなります。



つきぐみさん

“おやつは牛乳、自分で運べるようになりました”



そろり、そろり…

早期対応・ケアの大切さ

自己肯定感や自尊感情を育てるために…

お子さんの発達や情緒面で
少しでも気になる所があれば
是非お声をかけてください。

お子さん成長は「今」が大切です。
早期対応はマイナスにはなりません。
やってあげられることがあるなら、
先延ばししないことが大切です。

どのお子さんにも言えることですが
必要な時期に必要なことを
支援していきたいと思えます。
また、専門機関との連携の
コーディネートも行っています。
自信を持って卒園していけるように
保護者の皆さんと協力していきたいと思えます。



9月末、金魚の“くるり”が
天寿を全う致しました。
長い間たくさんのお友達に
可愛がってもらいました。
ありがとうございました。

